

「CKD-MBD 管理の教育動画作成によるスタッフ教育の効果を検証する」

医療法人財団 はまゆう会新王子病院

○長谷川明美 池間郁枝 古賀えりか 大谷麻岐 渡辺千代子

瀬川賀世子 宮崎三枝子 惣明靖元 西島博満 箆島明彦

【はじめに】

当院透析室看護師、臨床工学技士を対象に CKD-MBD 管理の動画を作成し、視聴前後の教育効果を検証したので報告する

【目的】

CKD-MBD 管理についてスタッフの理解状況を明らかにし教育動画の効果を検討する

【対象と方法】

透析室看護師（35 名）臨床工学技士（10 名）を対象に、教育動画を視聴し、その前後に CKD-MBD 管理に関する理解度テストを実施。アンケート調査の集計、分析を行った。

【結果】

動画視聴前後の理解度テストで平均正解率は視聴前 60%が視聴後 86%に上昇した。 視聴前テストの正解率が最も低かった問題は、透析液とカルシウムバランスの関係で 32%であった。その他正解率 50%以下の問題は、副甲状腺の解剖と食事療法についてであった。アンケートでは、98%が教育動画の活用は有用と回答した。

【考察】

CKD-MBD に関する苦手意識もあって、積極的な学習意欲に乏しいことが考えられた。今回の理解度テストや教育動画の活用で各個人が知識レベルを認識することで、今後の学習への動機づけができたと考える。【結語】教育動画の活用は有用性が認められた。今後も定期的な勉強会を実施し、意識、知識の向上に努める必要がある。